

散歩のついでに富士山に登った人はいない

インフルエンザや風邪が猛威を振るっています。元気に過ごしたいものです。では、風邪をひかないコツは何か？ 医者でもない素人の戯言としてお聞きいただきたいのですが、私の答えは「風邪はひかないと決めること」です。もちろん、手洗い、うがい、バランスのいい食事、十分な睡眠など日々の生活で実行すべきことはしっかりと実行するという前提で。科学的根拠は全くありませんが、どうやら風邪のウイルスは、「また風邪が流行ってきたので、自分も風邪をひきそうだな」と心揺れる人のところへスッとすり寄ってくるようです。「風邪はひかない」と決心した人のところは避けるようです。おかげさまで記憶にある限りここ数十年、風邪でダウンしたことがない私が言うのですから間違いないと思います。(笑)

何事もまず決心をすることが大切かと。もちろん、決心するだけではコトは成就せず、綿密かつ具体的な計画を執念をもって実行することが必要ですが。

いつも思い出すのが、「散歩のついでに富士山に登った人はいない」という言葉です。言い得て妙だと思います。姿の美しい富士山を眺めながら、いつか登れたらいいなと思っている限り、その人に「いつか」は決して訪れないでしょう。まず、「登る」と決めるから、登るための具体的にやるべきことが見えてくる。例えば、いつ？ どのルートから？ 装備も揃えなくては、体力をつけるためにウォーキングを始めようとか。

何事も決心・覚悟があって初めて実現の可能性が出てくるのだと思います。それは、自社の商売でも、まちづくりでも言えることだと思うのです。あるべき姿、なりたい姿を具体的に描き、その実現への決心、覚悟を決める。それがリーダーの仕事であり、とるべき行動だと思うのです。その上で持てる資源の配分をし、具体的な作戦を立て、仲間や部下とともに汗をかく。冬の澄んだ空気の中、凜とした白い富士の姿をみるたびに自分に言い聞かせています。

会頭 鈴木悌介